

ゼラチン残渣有価物化のための乾燥機の導入

彦根ゼラチン株式会社

事業目的	現在、当社で生産するゼラチンを抽出した後の残渣は、産業廃棄物として焼却処分されております。当事業は、新たに加熱乾燥機を導入することにより、残渣を乾燥し、肥料として再資源化することを目的としております。
事業概要	現在、ゼラチンの抽出残渣はある程度水分を含んだ状態で、産業廃棄物として業者に処分を委託しております。本来残渣には窒素成分が多く含まれており、水分が少なく乾燥された状態であれば肥料原料としての利用が可能となります。 今回の事業はゼラチン残渣を乾燥することにより、肥料原料として活用できるようにする事を目的に、乾燥機を導入し抽出残渣を再資源化します。
事業結果	乾燥機を導入し、残渣を乾燥することが出来るようになりました。乾燥品は肥料としての利用が可能な状態であり、成分も肥料として問題ないことが判明しました。
今後の課題	現在水分が安定せず、品質にばらつきが生じているために利用範囲が限られています。今後は利用範囲の拡大を図るために、加熱条件等の検討を行って、製品水分の安定化を図っていきたいと思います。
補助年度以降の状況	平成 24 年度の動植物性残渣のうち、肥料原料としての利用は 20% 程度の状況です。 上記「今後の課題」については未だ対処すべき部分が継続しております。特に品質面では付加価値が低い状態ですので更なる改善を図り、再資源化に努めているところです。